

分野連携企画報告書

行事（企画）名 TRANSLOG 2024

機械力学・計測制御部門，交通・物流部門 合同セッション「交通・物流機械のダイナミクス」
機械力学・計測制御部門，交通・物流部門 合同パネルディスカッション「実験・計測の高度化」

行事URL <https://www.jsme.or.jp/tldconf/>

1.開催日・会場
2024年11月27日（水）～ 29日（金） 東京大学 生産技術研究所

3.企画内容 例年，D&Dでは交通・物流機械に適用可能な基礎的な研究や開発に関する講演，TRANSLOGでは車両等実際の交通機械を対象とした運動と制御に関する講演が実施されている。本企画では，基盤となる研究開発とその応用，シーズとニーズを円滑に繋ぐため，D&D2024及びTRANSLOG2024に両部門の合同セッションとパネルディスカッションを開催するとともに意見交換の場を設けることで，部門間の連携強化を図るものである。TRANSLOGにおける合同セッションでは，機械力学・計測制御部門と交通・物流部門の全体を包括するようなセッションを実施した。また，D&Dの約3ヶ月後にTRANSLOGが開催されたことから，D&Dのパネルディスカッションでの議論を受けてTRANSLOGのパネルディスカッションのテーマを設定した。

4.連携の成果 合同セッションとして「ダイナミクスと計測・制御(1)～(4)」を実施し，鉄道，自動車，昇降機等に関するダイナミクス，振動制御，地震，制御，音，センサ，計測等の19件の発表が行われた。発表は両部門を横断する有益なものばかりで，分野連携に大きく寄与するセッションとなった。また，D&Dで「接触・抵抗問題」をテーマにパネルディスカッションを実施したところ，それらの実験・計測に対する議論になったことから，TRANSLOGにおけるパネルディスカッションでは「実験・計測の高度化」をテーマに，D&Dで活躍している研究者4名の話提供と討論を行った。パネルディスカッションには約75名の聴講者が集まり，計測の専門家に対してさまざまな質問が出るなど活発な議論が行われた。本企画は2021年度から実施され，認知度は年々高まり，参加者も増加していることから，両部門の連携促進に寄与しているといえる。

2.企画部門 機械力学・計測制御部門
交通・物流部門

5.今後の課題（苦労した点，課題点，他の企画へのアドバイス等）

- 本年度のTRANSLOGは第31回 鉄道技術連合シンポジウム (J-RAIL2024)と共催であったことから，TRANSLOG全体の参加者も多く，合同セッション，パネルディスカッションとも多くの方が参加した。また，パネルディスカッションにおいては他のセッションがない時間帯にプログラムを編成し，大きなホールで実施したことで聴講者も多かった。しかしながら，次年度はJ-RAILの共催がないため，参加者を確保する方策が必要である。
- テーマに合致した講演をお願いするため，講演者はオンライン参加を可としてハイブリッドで実施したが，機材トラブル等も発生することから，極力講演者も対面で参加いただいた方がよい。ただし，オンラインでの講演者も討論に参加するなど，内容への影響はほとんどなかった。
- プログラム編成の工夫や認知度の向上といった効果もあり，本企画の参加者は年々増加している。しかしながら，依然として相互の連携強化が十分とは言えない状況である。現在は両部門で活動する人を中心に企画しているが，今後はこれまで交通・物流部門で活動してこなかった人も実行委員に入れるなどして，さらなる分野連携を図りたい。